

先輩からのメッセージ 入職7年目 介護員

☆介護の仕事に就いたきっかけ

私は、震災後より人の役に立つ仕事がしたいという思いが強くあり、高校卒業後は地元で就職すると決めていました。「誰かの役に立つことが出来たらいいな」という気持ちだけで、明確にこんな仕事がしたいという考えは全くありませんでした。そのため、自分にどんな仕事が向いているのだろうと悩んでいましたが、人と関わるのが好きで、それが仕事にできる介護の仕事がいいのではという母の勧めもあり、介護の道に進むことを決心しました。

☆介護の魅力

毎日、小さなことでも「ありがとう」と言っていただけることが多く、サポートする側の私たちが温かい気持ちになることがたくさんありやりがいを感じています。

介護の魅力はたくさんありますが、最も重要なことは、仕事がなくならないということです。社会の高齢化が今後より進んでいくことが予想され、介護が必要な方が増える傾向にあります。そのため、人の役に立ちたいという思いで、今後も励んで介護の仕事ができることが、私にとっての一番の魅力だと感じています。

☆高校生へ向けてひとこと

介護の仕事は、オムツを交換したり、ご飯を食べさせたりと『お年寄りのお世話をする仕事』というイメージが強いかと思います。それもとても大切な介護の仕事ですが、ご利用者様の「こんな人生を送りたい」という想いを大切に、施設の中でもその人らしく過ごしていただけるように生活の手助けをすることが私たちの仕事です。また、「それも仕事なの？」と思われるかもしれませんが、ソファーに座ってテレビを見ながらお話をしたり、歌を歌ったり、一緒に折り紙をしたり、レクリエーションで風船バレー等をしたりと、コミュニケーションを図ることも仕事の一つとなります。私の言葉では伝えきれないことがたくさんありますので、是非見学にお越しいただき、介護とはどのようなものなのかを直接見て、感じていただけると嬉しいです。お待ちしております。